

## 考えを共有する時間(2) 【シンキング・サイクル:まとめ・表現】



ぼくはcmをmmに直して、  
 $65 + 28 = 93$  90mmは  
9cmなので、答えは9cm  
3mmです。



それは、さっきのアの  
①のやり方ですか、②  
のやり方ですか？



さっきの①のやり方、cm同士、  
mm同士で足し算した人は、8cm  
と13mmになりました。

あれ？ 8cm13mmでいいの  
かな？



13mmは10mmと3mmなので、1cm3mmのことです。だから、8cmのほうに1cmをたして9cm3mmになります。



### 【研究協議】



#### 《自評》

アの自力解決に時間をかけすぎてしまった。

#### 《協議》

- めあては適切だったか？
- 「はかり方」、「求め方」？
- 測らせることも必要だったのでは？
- 単純に「単位ごとの足し算」をやればよかったのでは？
- 「共有」の場面は何を想定していたのか？

### 【指導・講評】 講師：立教大学特任教授 黒澤俊二先生



今日の授業では、「どっちが近い？」は子供たちから出させたかった！

#### ○算数の3つの目標

- ①概念と性質の理解と数滴処理技能
- ②論理的で統合的・発展的な考え方
- ③よりよく問題を解決する態度、活用する態度

○目標②について

「論理的」とは…

「明確な根拠をもって理由を言える」  
ということ

「統合的・発展的」とは…

「二つのやり方は違うけれど、やっていることは同じだ」と気付くこと

つまり、「同じ」を見つけること



算数の目標②は、「理由」と「共通点」を考えさせる、ということ

ちなみに、cmやmmは「単位」ではありません。「単位」は「1cm」であり「1mm」です。

○目標達成のための二つの方策

・「数学的な見方・考え方を働かせて」 …指導案P.5に明記

・「数学的活動を通して」

→ ・子供たちの身の回りから数学的な問題を見いだす活動

・見いだした問題を、主体的・対話的に解決する活動

・解決過程を振り返って、概念化する活動

『量と測定』はすべて、「〇〇を『1』として、そのいくつ分か？」を考えさせる



最後に、N先生に贈る「算数の学習で大事な三つのこと」

①内包みつけ（「な」いほう）

②同じみつけ（「お」なじ）

③根拠みつけ（「こ」んきょ）

（N先生の名前は「なおこ」ではありませんでした…）

